

令和6年5月定例記者会見

■日時：4月 30 日(火) 午前 11 時

■場所：4階特別会議室

会見項目

«施策等»

1. 三陸ジオパーク推進事業にかかる宮古市地域おこし協力隊の任用
2. 宮古市移住定住促進事業にかかる宮古市地域おこし協力隊の任用

«催事等»

3. 宮古市スポーツ・健康づくり事業

会見内容

別紙資料1～3 のとおり。

記者との質疑

«1・2 地域おこし協力隊の任用について»

毎日新聞

宮古市を選んだ理由は。

前田隊員

宮古市の綺麗な三陸海岸を見たときに、ここに移住したいと思いました。食べ物も、とても美味しいです。

重田隊員

子育て世代にやさしい街であり、食も充実しています。飲食店も多く、人も優しいところが気に入っています。

岩手日報

宮古市とは元々繋がりがあったのか。

前田隊員

2019 年に釜石で開催された、ラグビーワールドカップ観戦のため三陸を訪問しました。浄土ヶ浜などを観光し、その後も数回、宮古市を訪問しました。

重田隊員

前職で、三陸鉄道キット Dreams「キット、ずっとプロジェクト」に携わっていました。震

災以降 10 年間で 30 回以上宮古市を訪問し、人の良さを知りました。

«その他»

岩手新聞

ゴールデンウイーク前半が終了したが、観光客の往来はどうか。

市長

4月29日に、外国客船ロイヤル・プリンセスが宮古港に寄港し、街中が大変賑わいました。国籍を問わず、観光客が多く来訪していると感じています。

読売新聞

刈屋地区の林野火災について、受け止めや対策、市民に呼び掛けたいことは。

市長

強風等の気象状況を認識し、気を付けていかなければならない、ということを改めて感じました。5年前に田老地区で発生した山林火災の経験を基に、県と市と自衛隊で消火活動を行いました。経験をしっかり伝えていきたいと考えています。

岩手日報

刈屋地区の林野火災について、対応の難しさや、今後の対応は。

市長

今回の火災では、火が点在し消火が困難な状況でした。岩手県・秋田県・青森県の防災ヘリコプターと、自衛隊のヘリコプターで空中消火を行い、消火活動を行いました。消火活動では、42万5,000トンの水を使用しました。焼失範囲は、180ヘクタールでした。詳細な状況は今後調査し、対策を考えます。

毎日新聞

火災発生後または鎮火後、市内事業所への具体的な要請や指示等はあったか。

市長

特にありません。

毎日新聞

消滅可能性都市の発表があった。このような発表に対し、町村会は批判しているが、首長としてどのように受け止めているか。

市長

様々なデータの出し方があり、参考にする部分はあると認識しています。人口減少については、地方と首都圏の平均給与の差などを考慮して、子育て世帯の負担を減らすことを目的とし、様々な施策を実施しています。また、経済状況の違いによる教育格差を防ぐため、奨学金の制度を充実させていますが、宮古市に戻ってきた場合には返済免除を行うなど、宮古市に戻ってきやすい環境づくりを行っています。

令和6年5月 定例記者会見

日 時 令和6年4月30日（火）午前11時00分

場 所 宮古市役所4階特別会議室

《項目》

«施策等»

1. 三陸ジオパーク推進事業にかかる宮古市地域おこし協力隊の任用 (企画課)
2. 宮古市移住定住促進事業にかかる宮古市地域おこし協力隊の任用 (企画課)

«催事等»

3. 宮古市スポーツ・健康づくり事業 (生涯学習課)

地域おこし協力隊の着任について

| | |
|-------|---|
| 隊員名等 | 氏名：前田 結美（まえだ ゆみ） 年齢：32歳 着任前の居住地：兵庫県姫路市 |
| 勤務場所 | 市役所（所属：観光課） |
| 活動内容 | 「三陸ジオパーク推進事業」 三陸ジオパークの普及促進による観光客誘致 ■現地調査 ■宮古市三陸ジオパークの魅力発信 |
| 任用期間 | 令和6年4月9日～令和7年3月31日 |
| 問い合わせ | 【地域おこし協力隊に関すること】 市企画課次世代交流支援室（TEL77-5021） 【三陸ジオパーク推進事業に関すること】 市観光課ジオパーク推進係（TEL68-9091） |

※任用期間は本人の同意を得て、採用から最長3年を限度に更新することができる

●地域おこし協力隊について

- ・今年度新たに2名が着任
- ・宮古市では16人目の任用
- ・令和6年4月30日現在、現役隊員は前田隊員を含めて5人

移住定住促進事業にかかる地域おこし協力隊の着任について

| | |
|-------|---|
| 隊員名等 | 氏名：重田 正憲（しげた まさのり） 年齢：37歳 着任前の居住地：静岡県熱海市 |
| 勤務場所 | 市役所（所属：企画課） |
| 活動内容 | 「宮古市移住定住促進事業」 宮古市の魅力を情報発信し、移住定住に向けた関係人口の創出 ■移住定住に向けた関係人口イベントの企画運営 ■SNS等を活用した宮古市の魅力発信 |
| 任用期間 | 令和6年4月16日～令和7年3月31日 |
| 問い合わせ | 【地域おこし協力隊、宮古市移住定住促進事業に関すること】 市企画課次世代交流支援室（TEL77-5021） |

※任用期間は本人の同意を得て、採用から最長3年を限度に更新することができる

●地域おこし協力隊について

- ・今年度新たに2名の着任
- ・宮古市では17人目の任用
- ・令和6年4月30日現在、現役隊員は重田隊員を含めて5人

みんな生き生き！

健康寿命の延伸



日時 令和6年 5月18日(土) 15:00~16:30

場所 市民交流センター2階 多目的ホール (イーストピアみやこ)

〒027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目1-30

講演会 (参加料/無料) 定員100名

演題: みんな生き生き！健康寿命の延伸
～働き世代からの健康づくり～

講師: 日本体育大学 体育学部 健康学科 横山 順一 教授

■ 講師プロフィール

日本体育大学卒。弘前大学大学院医学研究科博士課程修了。

高齢者の「地域での生活継続」「健康寿命の延伸」等をテーマとして、高齢期の保健・福祉の向上および増進に向けた研究と講演活動を行っています。

★健康寿命とは、健康で生き生きと生活できる期間のことを言います。



横山順一教授

★参加ご希望の方は5/15(水)までに下記問い合わせ先までお電話にてお申し込みください

お問い合わせ先 宮古市教育委員会事務局 生涯学習課 スポーツ振興係 ☎0193-68-9120

・講演会当日は、検温や手指消毒等、新型コロナウイルス感染症感染防止対策にご協力をお願いします。

・宮古市役所前駐車場、宮古駅前駐車場、宮古駅東駐車場をご利用の方は無料処理いたしますので、駐車券を会場までご持参ください。
※上記駐車場には限りがございますので、公共交通機関の利用にご協力いただきますようお願いします。